

毎号楽しみにして読んでいます。編集スタッフさんが、日本文化を大切にしている事が伝わって来ます。
(T-様)

ありがとうございます。
日本のよき文化、歴史を大切に発信していけたらと思い、ニュースレター作成をさせていただいております。想いが伝わり、とても嬉しいです。今後も続けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

いつも、楽しみに拝見しています。接し武具の歴史は毎回、詳しく説明いただき興味深いですね。一度、槍の拵えついでの特集をお願いします。
(N-様)

いつもありがとうございます。槍の拵の特集ですね！ぜひとも記事にさせていただきます。楽しみにして下さい。

何時も楽しい企画が盛り沢山で愛読させて頂いております。今後も楽しみにしています。
(S-様)

ありがとうございます。愛読していただき、とても嬉しいです!!! 本当に感無量です。疑問に思っていることがございましたら連絡下さいませ。記事にさせていただきます。

初めて拝見しました！とても面白かったです。これからもよろしくお願いします。
(K-様)

ありがとうございます。
今までの記事を見ることが出来ますので、ぜひ読んで頂けたらと思います。

<https://daimyou.com/yamato.html>

武具についての細かい説明を、しかも絵付きで、とても感動です。これからもこういったマイナー？なネタ宜しくお願いします。
(O-様)

ありがとうございます。これからもマイナーと感じてもらえるように、面白いネタ作り頑張ります。次回も楽しみにしててください。

甲冑の勉強になっています。イラストも良いですが、実物の写真ですと嬉しいです。変わり兜や前立の名品を記載して頂きたいです。学校訪問も良いです。
(Y-様)

ありがとうございます。変わり兜については、Vol.50を、前立については、Vo.25をぜひご覧ください。写真ではなくイラストとなりますが、楽しんで頂けたら幸いです。

「届けますっ!大和魂」のニュースレターをいつも読んで頂き、ありがとうございます。そして、沢山のコメント心より感謝いたします。これからも、皆様に喜んで頂けるよう楽しい記事作りを心掛けていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

お年玉プレゼント

おめでとうございます!!

当選者様へお届けしました!!

先程お年玉の包丁届きました。
2年連続でお年玉をいただきまして恐縮しております。ありがとうございました。写真お送りいたします。
今後ともよろしくお願いいたします。
(みのたん)

经营理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

こんにちは、島谷貴子です。
最近知ったのですが、6月12日といえば、「恋人の日♡」だそうです。
皆様ご存知でしたか？

何で恋人の日と呼ばれているのかというと、縁結びの神である聖アントニオの命日の前日であることに由来しているそうです。そしてブラジル発祥の記念日で、恋人同士や家族、友人でお互いに贈り物をしたり、食事に行ったりして愛情や絆を深める日だそうです。
贈り物には、フォトフレームを贈りあうことがいいとされています。

日本では、恋人同士や夫婦が「これからもよろしく」とプレゼントを贈りあい、気持ち確かめあう習慣が定着しています。なので、家族の絆を深める為、いつもと違った形で長女は仕事、次女・三女は習い事等、全員が揃う事がなかなかなくなってきたので、いつも私を支えてくれている感謝を伝えるため、外食をすることにしました。

「何が食べたい？」と聞くと、全員が「肉!!」という事で、焼き鳥を食べに行きました。ゆっくりとした時間を過ごすことができました。
帰りに、「ママ、いつもありがとうね」と娘たちからの言葉だけでも満足だったのですが、家に帰ったらお花とLINEギフトが用意されていました。私にとっては本当に最高の日となりました。
これからも母娘共々、人生を楽しんでいきまあ~すっ

いつもありがとうございます。これからもがんばります。

ふうか

ママ大好き♡

ふうか

いつもありがとうございます。これからもがんばります。

はるか

いつもありがとうございます。これからもがんばります。

はるか

こんにちは。中堀明美です。

6月になり、夏まであと少しです。皆様いかがお過ごしでしょうか？

のぞらし
野晒図の脇差を入荷し、なんで鞘に描いたのだろう？ と気になり、
野晒について調べてみました。



のぞらし 野晒とは…

野外で風雨にさらされて白骨化した人間の骨。野辺にさらされた人の頭蓋骨（髑髏）のことです。晒され頭（さらされたこうべ）で「しゃれこうべ」とも呼ばれます。私のイメージとしては怖い！死神！不吉！でした。

しかし、日本では魔除けや厄除けの意味があり、骨になったとしてもという決死の思いと、骨になった後は蘇る「再生」の意味もあり、縁起の良い柄として着物などに用いられています。

他の国でも、文化や宗教において特別な象徴として扱われてきました。

メキシコの「ディアデロスムエルトス（死者の日）」では、骸骨は死者への敬意や祝福の象徴として使われています。物質的な肉体が朽ち果てた後も、存在し続けるものとして死を超えた永遠性を象徴し、人間の精神や魂の側面を表現するものとされています。

偉人達も意味を込め…

住んでいた家が火事で全焼してしまい、命からがら生きのびた松尾芭蕉。その際、心に「一所不在（一定の場所に住まないで諸国を回ること）」の無常観が芽生えたそうです。芭蕉が、出かける門出の吟で、

野ざらしを心に風のしむ身かな

という句があります。意味は…「旅の途中野たれ死にして、白骨になるかもしれない。そのことを覚悟して長途の旅に出ようとすると、折からの秋風がことさら身にしみてわびしい思いがする。」漂泊の旅に人生を見いだす世界観、人生観が強く表れ、詩人としての決意を物語っている句であると高く評価されています。旅立ちの大事な瞬間に「のぞらし」という言葉が使われていることに驚きましたが、この先どうなったとしても、の決意の表れを強く感じました。私が一人で旅に出たとしたら、そこまでの強い意志を持てるか不安で仕方ないなと思いました。



稽古着とTシャツ

新撰組の近藤勇が稽古着の背に髑髏の刺繍をしていました。これは妻のつねが刺繍したもので、古武術では髑髏は決死の態度を意味します。常に死と隣り合わせだった武士たちが、髑髏を用いる事で、覚悟を持って戦いに挑んでいたのだと思います。

怖かったイメージが、意味を知る事で180度変わりました。
野晒図にご興味のある方は、ご連絡お待ちしております。

ちょっとかわいい。



ハナエモンの

タ〜イムスリップ!

今号も引き続きNo.2の武将に
注目した記事になります。
今号は源頼朝のNo.2、
この方にタ〜イムスリップ!

大江広元

おおえのひろもと（1148-1225年）



おおえの これみつ
出自の詳細は不明で諸説あり、下級貴族の大江維光が実父か養父、また同じく下級貴族の中原広季が実父か養父とも云われています。下級貴族とはいえ、幼少期から書物、学問に触れて育ち、朝廷での官職に就く為に学んでいました。その努力もあり、官僚として朝廷内の行政の実務を行う役職に就くことが出来ます。

朝廷官僚から武家政権の中樞へ

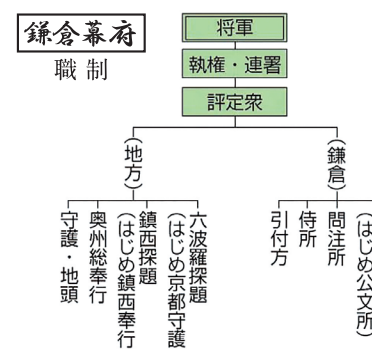
源頼朝が平氏を滅ぼした頃から、広元は頼朝の近くで仕えることになります。広元の兄が早くから頼朝に仕えていたこともあり、側近として迎えられます。頼朝からの兄への信頼もありますが、戦を主とする武士の中において実務を行う官僚は、貴重な存在だった為だと思われます。朝廷側の官僚としての経験から朝廷との調整役を担うようになっていきます。



広元は朝廷主導の時代から武士の時代へと流れていくのでは？と先を読んでいたのでしょうか？それとも新たに起こる武家政権の制度作成に携わりたいという欲求だったのでしょうか。

鎌倉幕府の制度設計に尽力

広元の尽力もあり、頼朝が征夷大將軍に任じられると鎌倉幕府の設立、制度設計にも携わっていくことになります。その中の一つが広元が提唱したとされる守護、地頭制度です。幕府の影響力を全国に及ぼすためにも、各地に幕府から守護、地頭を派遣していきます。地頭は税の取立て、領民の管理を行い、守護は地頭の監視やその国の軍事面を担う役割です。この守護、地頭が全国に派遣されたことで、鎌倉幕府の権威、支配体制が確立されていきました。



幕府への忠誠

頼朝の死後、後鳥羽上皇が幕府の干渉に不満を持ち、朝廷側に主権を取り戻す為に幕府を倒そうとして反乱し、承久の乱が起こります。広元は朝廷と幕府の間で揺れる御家人達に幕府の正当性を訴え、朝廷との戦いに有利になるように尽力します。頼朝の妻、尼將軍：北条政子の活躍もあり、幕府軍は短期間で朝廷側の軍勢を敗ります。



この時、広元の嫡男は朝廷側に味方をしてしまいます。敗れた嫡男はその後、捕まり流罪となります。広元は幕府の正当性を示す為に息子の流罪も受け入れています。広元の大江家はその後、各地に所領を得ることになります。その中の一人の子孫が戦国大名として有名な毛利元就になります。広元の四男がその血筋にあたります。ちなみに広元の兄の血筋の子孫が戦国大名の太田氏です。